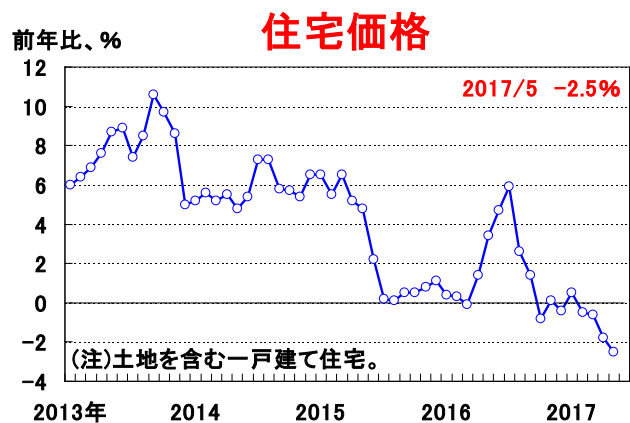
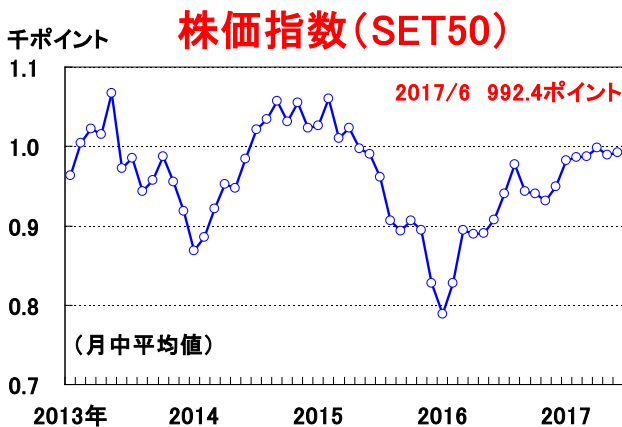
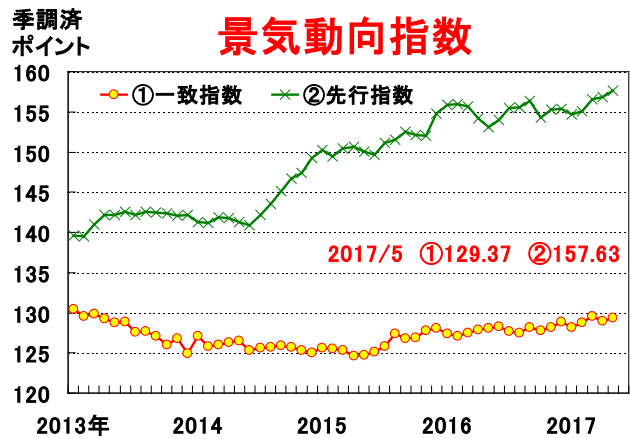
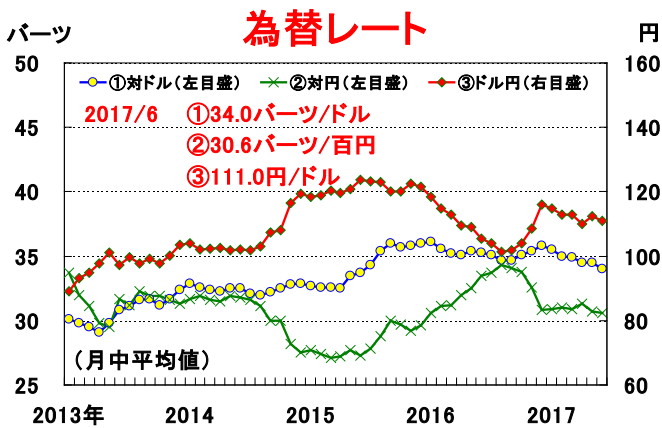
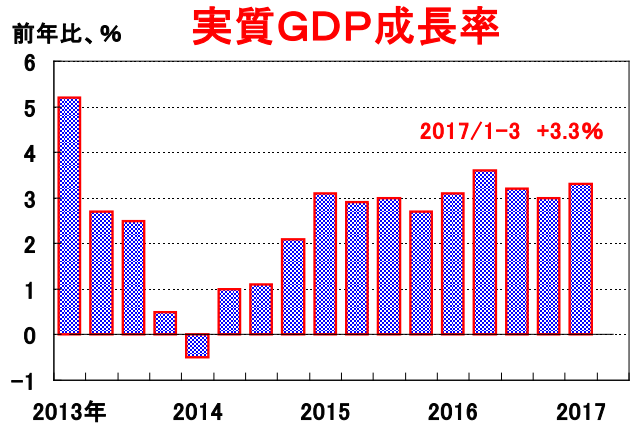
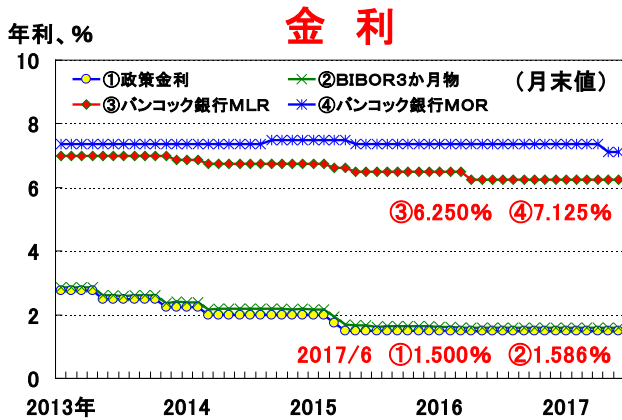


# グラフで見るタイ経済 2017年7月号(No. 97)

タイ景気は回復基調にある。5月の指標をみると、景気動向指数は、一致指数が上向いたうえ、先行指数も過去最高水準を記録した。最終需要の動きをみると、家計部門では、個人消費指数が前月比+1.3%と、半耐久財消費の持ち直しなどもあり、再び上昇した。企業部門では、工業生産指数(前月比+0.3%)が上昇し、また主力産業の自動車の生産台数(前年比+0.7%)も4か月ぶりに増加した。輸出は前年比+13.2%と約4年半ぶりの高い伸びとなった。足元の6月の企業景況指数も50.7と2か月続けて中立水準の50を上回っている。



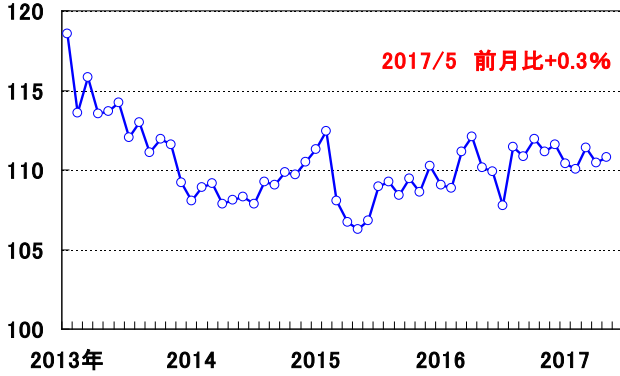
**【今月のトピック:急増するソーシャルメディアの利用者】** 調査会社のトート・ソーシャルによると、タイではソーシャルメディアが急速に普及している。同社によれば、5月1日時点の利用者数はフェイスブックが4,700万人(前年比15%増)、インスタグラムが1,100万人(同41%増)、ツイッターが900万人(同70%増)である。ソーシャルメディアは個人間の情報発信だけでなく、小売や通信サービスなどの企業の販売促進の手段としても広く利用されている。こうしたなかで、タイ政府は犯罪活動の手段としてソーシャルメディアが使用されることを警戒しており、監視を強化している。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

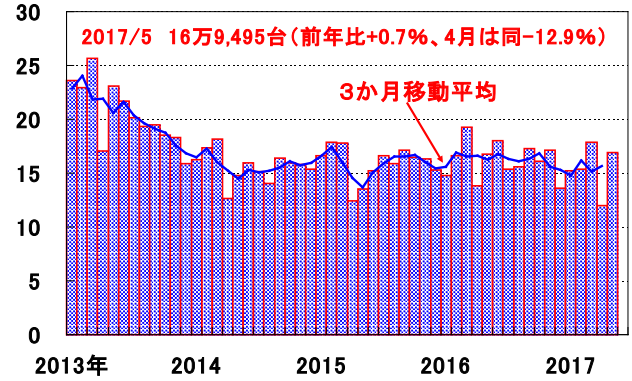
季調済  
2000年=100

### 工業生産指数

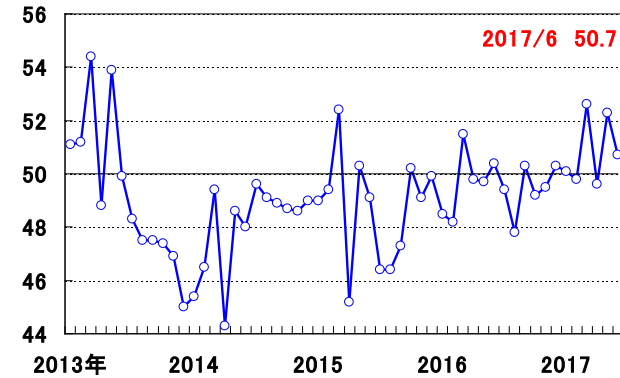


万台

### 自動車生産台数

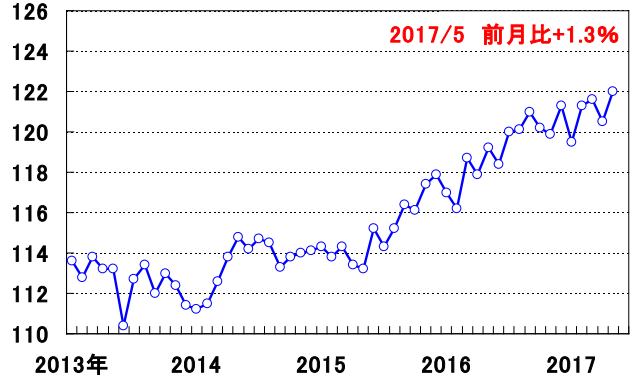


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



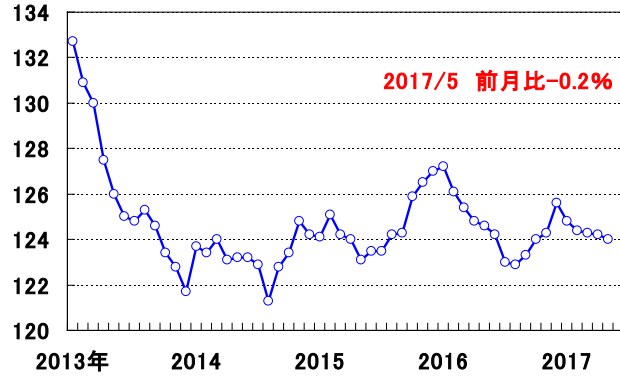
季調済  
2000年=100

### 個人消費指数



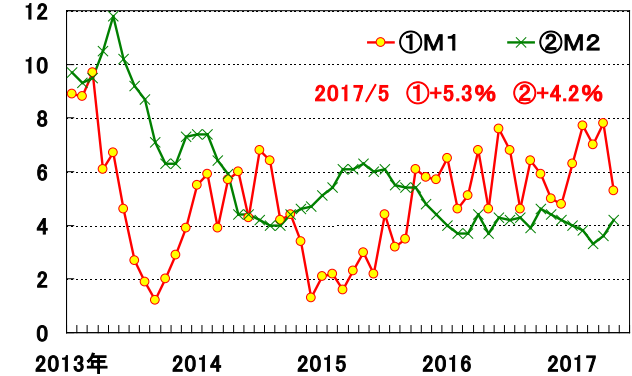
季調済  
2010年=100

### 民間投資指数



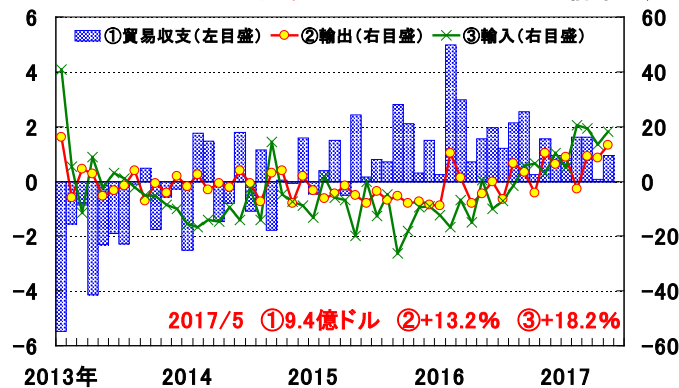
前年比、%

### マネーサプライ



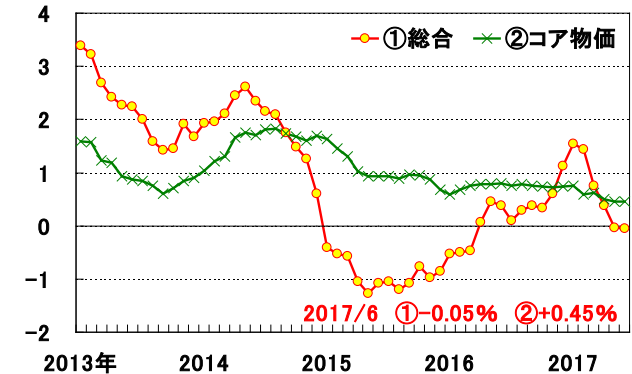
10億ドル

### 貿易収支



前年比、%

### 消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。